

# RS232C I/F付き メインユニット

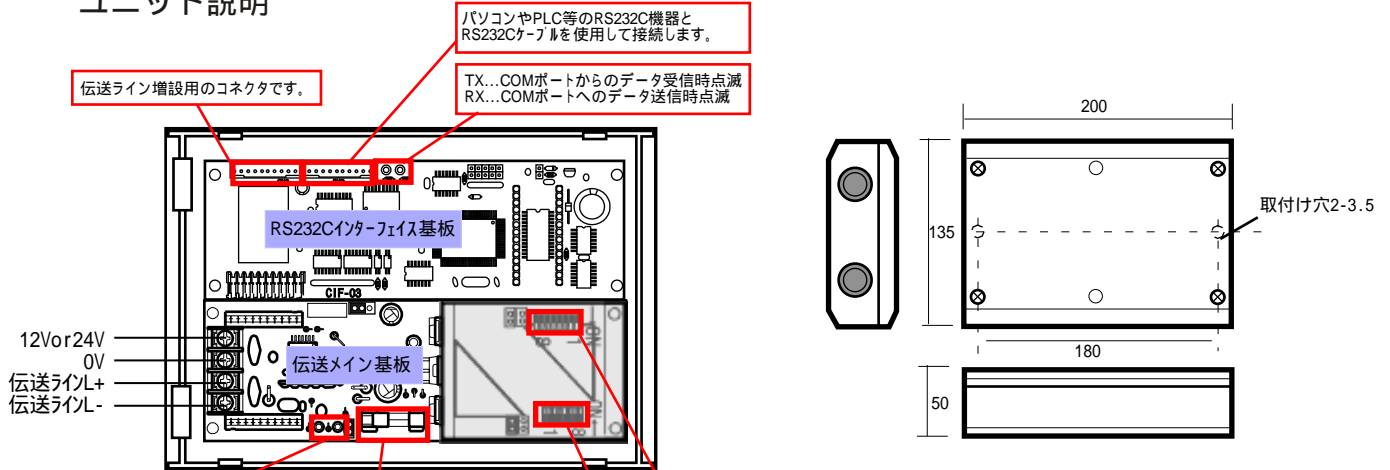
PUC01- 1 tkSK-002  
Ver-3.8

1 A-アスキー通信用 (弊社MGM16等で使用) B-バイナリ通信用PLC等で使用)の2種類があります。

## 特徴

- ・ユニバーサルライン上のON/OFF信号をRS232Cに変換するユニットです。
- ・パソコン、PLCのRS232Cポートを使用して最大1024点のI/Oの監視、制御が可能になります。

## ユニット説明



OK...正常動作時点減  
DT...データ入力時点減  
データ入力が多いほど明るく点滅

伝送ラインショート時にヒューズが切れます。切れた時は交換してください。(6ビット 0.5A)

### ジャンパにより伝送メイン基板のモードの切替えができます

|        | メインモード<br>(伝送親局)                                 | サブモード<br>(伝送子局)                    |
|--------|--|------------------------------------|
| メインモード | 伝送加割出力あり。システムラインに必ず1台必要です。2台目以降は全てサブモードとして使用します。 | 伝送加割なし。多点I/Oの伝送I/Fとして使用する場合に設定します。 |

メインモードに設定した伝送主基板を同一伝送ライン上に2台以上接続すると伝送加割が当たって故障の原因となります。

### 増設基板用入出力アドレス設定

伝送メイン基板の放熱フィン下にあるディップSWで設定します。それぞれのSWに下記の2進数が割付けてあります。

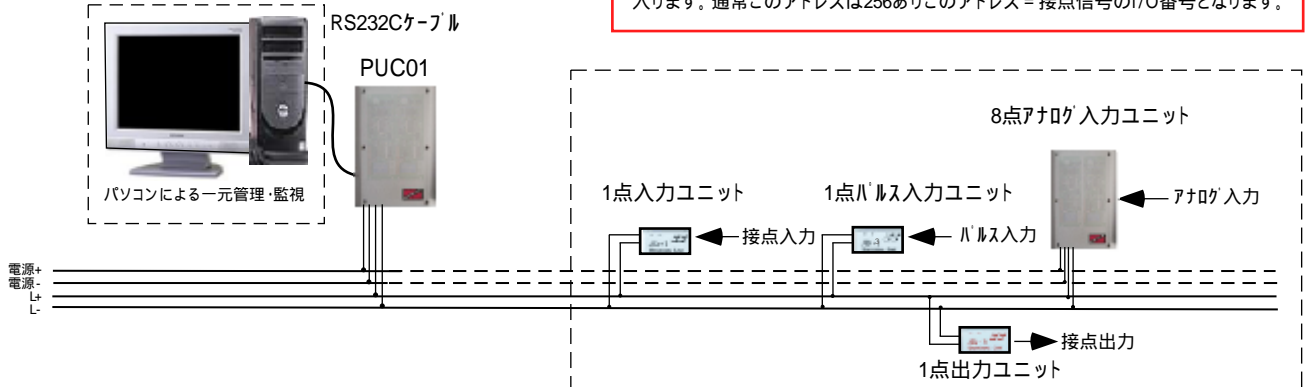
| SWNo | 2進数 |
|------|-----|
| 1    | 1   |
| 2    | 2   |
| 3    | 4   |
| 4    | 8   |
| 5    | 16  |
| 6    | 32  |
| 7    | 64  |
| 8    | 128 |

ON 入力設定SW  
設定方法  
増設した入力基板の先頭のアドレス-1に合わせる (SW1~8の2進数合計をONする)

ON 出力設定SW  
設定方法  
増設した出力基板の最後のアドレスに合わせる (SW1~8の2進数合計をONする)

アドレス設定表を参照してください。

## 接続方法



## 仕様

|         |                    |   |
|---------|--------------------|---|
| 電源電圧    | DC12V専用もしくはDC24V専用 | 2 |
| 消費電流    | 500mA (突入電流1A)     |   |
| クロック周波数 | 約512Hz             |   |
| クロック数   | 256 (128・64)       |   |
| ボーレート   | 9600BPS N81        |   |
| 質量      | 約460g              |   |

2 24V用は末尾に-2が付きます。

配線方法・分岐は自由です。極性のみお気をつけください。